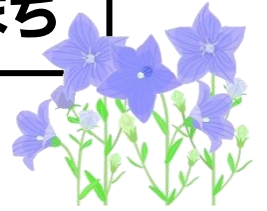


認知症になっても安心して暮らし続けられるまち

神戸市では、認知症の人にやさしいまちづくりを推進し、認知症の方とその家族を支援する制度があります。認知症の方が、住み慣れた地域で暮らすための取り組みをご紹介します



認知症サポーター養成講座



認知症について正しく理解するための市民向け研修で、認知症の症状や認知症の方への接し方を学ぶことができます。サポーター登録とともに「オレンジリング」を受け取ります。



高齢者安心登録



協力者の登録もセンターにて受け付けています

道に迷うなどして自宅に帰れなくなる恐れのある方を、あらかじめ登録しておき、実際に行方不明になられた時には、協力者にメールで情報を配信します。

認知症カフェ



認知症の方も、介護するご家族も、地域の方も、どなたでも参加できるカフェです。場所はお問合せください

介護リフレッシュ教室

奇数月第3木曜日 介護をしているご家族の方ための集まりです。

神戸モデル

認知症の人にやさしいまち「神戸モデル」

認知症診断

無料で受けられる4つの安心

- 1 賠償責任保険
最高2億円の賠償責任保険への加入
- 2 コールセンター
24時間 365日対応
- 3 GPS
かけつけサービス
- 4 月額金
最高3,000万円

認知症と診断された場合

55歳以上の
申し込み可能

詳細は、あんしんすこやかセンターまでお問合せください。

耳よい情報 今回は「医療情報」について

「医療情報に困ったらかかりつけ医にご相談ください」

川本医院 川本雄規先生



みなさまこんにちは。2021年8月より川本医院（ひよどり台）で勤務しております川本雄規です。現在当院では私の父である川本一祐院長と、医師2名体制で診療しております。みなさまの健康管理に少しでもお役に立つことが出来ればと思っております。よろしくお願ひ致します。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行により、医療情報がこれまでになく注目されています。しかし、テレビやインターネットでは様々な情報が飛び交い、患者さまからは「どの情報を信じてよいのか分からない」というご相談を受ける機会が増えています。信頼できる医療情報とはどのようなもののでしょうか？

医療を行うには、実践的な「経験」と根拠となる「医学」が必要です。そして、この経験的・医学的な部分がバランスよく発信されているものが、適切な医療情報と言えます。

たとえば「〇〇さんはこの薬で調子がいい。」とか「テレビで有名な〇〇先生がこの治療を勧めていた。」などは、経験的には正しいように考えられますが、医学的な根拠という点では注意が必要です。反対に医学的に正しくても、実際の患者さまや地域の状況にそぐわない場合もあります。

「●●という病気に▲▲という薬が使われ、みなさま順調に回復されています。この治療法は■■という医学論文で有効性、安全性が証明されています。」という情報発信であれば、経験と医学のバランスがよく信頼できそうです。

このような適切な医療情報を正しくみなさまにご提供するため、我々かかりつけ医は日々研鑽を積んでおります。様々な医療情報が飛び交う世の中ですが、

お悩みがありましたら是非お気軽に、かかりつけ医へご相談下さい。



リフレッシュ教室のご案内

新型コロナウイルス感染対策のため、緊急事態宣言中は開催を見合わせています。今年度は不定期開催となりますが、その都度ご案内いたします。



しあわせの村あんしんすこやかセンター
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番19号
(介護老人保健施設 リハ・神戸1F)
TEL：(078) 743-8208
FAX：(078) 743-8305

